

圖書試驗問題

(一時間)

毛筆畫

第一 墨畫の梅

第二 墨畫の花弁

右二圖隨意に畫くべし

裁縫試驗問題

(三時間)

第一 幅一尺二寸の縮緬を以て衣服無垢一枚を裁つに寸法は身の丈四

尺とし其他も普通にせば用布の總丈幾許を要するか(裏地は省く)

第二 右裁ち方の圖解に名稱寸法を記し及び其縫り方の算式を示せ
與ふる所の布と糸とを用ゐて男袴羽織の左の前身頃を縫ふべし
右の寸法は實物二分の一とす

岡山孤兒院 石井十次氏の設立に係る岡山孤兒院は

目下二百七十人の兒童を收容して自立の方法を授け居

り衣服改良の爲めには少年音楽隊を組織して全國に寄

附金を募りしが尙ほ入院申込者續々あるに付當春より

は進んで擴張方法を講ずといふ。

西村茂樹氏の道德講義 夙に道德振興に熱心なる同

氏は其講ずる所を道德講義と題して既に六卷まで世に
公にせしが今回更に七八二卷を出すよし

○玩具の發賣差止 玩具品中土燒の鳩犬張子の二品
は有害の色料を試用しあるを發見したれば今回警視廳

より發賣を差止めたり

○保姆傳習所講師及場所 東京府教育會の附屬同所

は、愈本月より開始することとなり中村五六氏を同所

長に、東基吉氏、清水鶴子氏、山内繁雄氏、東桑子氏

等を、夫れ、講師に依頼せりと云ふ。尙場所は當分東

京府第一高等女學校に定めたりとのことなり。

海外彙報

○英國女皇陛下の崩御 吾人はこゝに表題の如き悲

しむべき報告に接したり。我國とは特に親交厚き國土

に臨御あらせられたる女皇陛下我世界女界の親友なりし

女陛下には遂に、一月廿二日午後六時四十五分を以て崩御あらせらる。嗚呼悲いかな。女皇陛下は實に千八百十九年の御誕生にて本年八十三歳に渡らせられハノバ一家中にても、最も高齡を保たれたる御方にて、ジョージ二世は七十七歳ウキリヤム四世は七十二歳の高齡に達せられたるも未だ女皇の實算に及ばざると遠し而して女皇の御宇六十三年の久しきに亘れるが如きは英國の歴史中絶えて其の比類を見ることなし此の間に英國國力の發達したること領土の擴大したること文物の煥發したると其他萬般の事物の進歩發達したること是れ亦他の朝に其比を見ざる所たり。然るに近年内外多端にして痛く宸襟を惱ませられたるが上に、昨年第二皇子エデンボルグ公の薨去に遇ひて深く哀痛せられてより健康を害ひ給ひたること尠からざれば内外共に御氣遣ひ申上げたるに、遂に此悲報に接したり御病勢は去十九日頃より甚だ容易ならずして大に衰弱を來し體力減損して、大脳萎縮の兆候ありしが二十一日に至り愈

愈危篤に瀕せられ、御臨終の期も頗る切迫したる御模様なれば、皇室の一族を病床に召させられ、御永訣ありたりと承はりしが、御療養甲斐なく遂に此報を得るに至りしなりいたましいかな。

○英國新帝即位及皇太子宣下 女皇ヅキクトリア陛下崩御後英國憲法の規定に依り直にウエールス親王殿下踐祚大不列顛、愛蘭聯合王國兼印度皇帝エドワード第七世陛下と稱し奉り皇太孫ヨーク公に皇太子殿下の宣下ありウエールス親王と號し奉る由

○韓國釜山教育事情 海外に於ける我邦人の教育事業に關しては、政府も關係する所なければ、有力達見の教育家もあらず、従つて随分亂暴なる有様なり。韓國の如きは殊に、世界列國環視の中心點たるに、我邦人の手にある教育事業の然く亂暴なるは、まことに慨歎の至なりと云ふ外なし。

釜山にある我居留民の數、凡八千、此人口より徴收する所の公共費額、凡八千九百圓、而して教育費は、

其十分一を占め、他の主なる費途は、土木水道費とす。小學校の數一、幼稚園を之に附屬す、幼稚園は東宮御慶事記念として昨年創立せし所にして、目下本派本願寺の主持する所なれども、今回は、之を學校に移さんとするなり。生徒幼兒の數合せて、四百五十人、中西洋人二十人計、教師の數二十人、俸級、最高六十圓最下二十圓なれども本年よりは最高八十圓（校長）に増額せんとす、此他に若干の手當金、住宅料を給せらる。

釜山に於ける生活費は割合に廉にして、魚類も鶏も多ければ朝鮮米といへども、味は殆ど日本米と異ならず、故に食料品は極めて廉にして、只、住宅料は稍高價なるのみ、氣候は畧、東京と同じ。右の如くなるを以て、従來は學校教員も、眞實熱心に教育に従事するものなく俸給も比較的宜しきを以て、之を以て高利貸などなせるものすらありしなり。

然れども本年よりは、學校を新築し、更に國庫の補助

を得て教育の俸給等も増額し大に有力の教師を聘して面目を改めんと着々運動中なり。小學校の他に、日本語學校ありて、こゝには韓人の子弟を日本語にて教育しつゝあり、目下生徒數七八十人に及べりといふ。

會報

本年一月二十二日午後三時女子高等師範學校附屬幼稚園に於て幹事會を開き左の件を議決せり

- 一、雜誌發行に關する出納は特別會計となすこと
- 一、二月の常會の後に會員野口ゆか子氏の送別會を開くこと

フレベル會第廿常會記事

明治三十四年二月二日午後一時半より女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開會高浦丈雄君の演說あり終て幹事野口ゆか子氏の送別あり尙詳細は次號に記すべし